

山頂は絶景です!

この日は約20人が山頂まで登りました。開所当初は木々が生い茂って景色がみられませんでした。が、間伐や下草刈りなど手入れをしてきたおかげで、このように絶景を臨める空間になりました。



キハダ40本、その根元にフジバカマを植えました。キハダは胃腸薬にもなる薬樹。皮をむくと、黄色い木肌が現れます。フジバカマは秋の七草の1つで、秋には小さなピンク色の花が咲きます。



しいたけの菌打ちも体験しました。この原木で採れたしいたけも、天ぷらにしてみました。

山を楽しみ、親しむことで、この自然を大切にしたいという気持ちになりました。

「コープぎふの森・関」の森づくり活動は、毎年春と秋に行なっています。この秋、あなたも参加してみませんか? ご案内は「週刊コープぎふ」、ホームページで行ないます。



ゴミを出さないように工夫しています。キャベツの芯や人参の皮も、調理して食べるようにしています。



佐藤さん、岩田さん

よく山に登ります。山に登ると自然を大切にしたいなという気持ちになります。



生ゴミを肥料にして野菜を育てています。

私が環境を守るためにしていること

山で採れた山菜を天ぷらにしてみました



採れたての山菜をいただけるなんて最高です。



灰汁もなく、とってもおいしい。

これを楽しみにしてきました!

わらび、コシアブラ、タカノツメ、イタドリ、よもぎなどが採れました。

イワカガミ



途中にはイワカガミの群生が。こんなにたくさんイワカガミが見られるところは、珍しいのだそう。人が入りすぎていないからこそ守られているんですね。



森づくりの活動には、中濃森林組合、岐阜県中濃農林事務所・関市経済部林業振興課、ふどうの森クラブ・上迫間ふれあいの森づくりの会のみなさんにご協力をいただいています。



5年前の様子



今後も継続して森づくりを行なう協定を締結し、岐阜県から感謝状をいただきました!

里山の役割

里山は、人間の生活と結びついた森林(空間)です。人の手が加わることにより、多くの動植物の生息場所となり、私たち人間にも豊かな恵みを与えてくれます。また野生動物と人間の住む場所の境界線ともなっており、放置されると野生動物が人間の生活圏に近いところまで移ってきます。草や木々が生い茂り、不法投棄など悪環境の原因にもなりかねません。



「コープぎふの森・関」に近い、関市迫間に住む「ふどうの森クラブ」の早川誠爾さん。



この『コープぎふの森・関』に、薬樹であるキハダを300本植えるのが目標です。若い人にも大勢参加していただいて、この森を育ててほしいです。



中濃森林組合のみなさん。この日は班長として、山を案内していただきました。



日ごろから山の手入れをしてくださっている「ふどうの森クラブ」のみなさん。

コープぎふの森・関プロフィール

場所 関市迫間
面積 6.53ヘクタール
標高 約270~280メートル
年齢 コープぎふの森・関は今年で7年目。

巻頭集

「コープぎふの森・関」で、里山を楽しみながら森づくり

自然の魅力がいっぱい!

